

アメリカから各国に広がった鎮咳去痰薬

ヒロハセネガ (ヒメハギ科)



*Polygala senega* Linné var. *latifolia* Torrey et Gray

|     |                                              |
|-----|----------------------------------------------|
| 部位  | 根                                            |
| 生薬名 | セネガ <span style="color: red;">日本薬局方収載</span> |
| 成分  | セネギニンII-IV (トリテルペンサポニン)                      |
| 薬理  | 鎮咳作用、去痰作用など                                  |
| 用途  | セネガシロップ原料、鎮咳去痰薬に配合                           |

北米原産の多年草。草丈30 cmほどで初夏に5 mmくらいの白い蝶形花を穂状に付けます。冷涼な気候を好むため、日本国内では北海道や兵庫県、奈良県の山間部で生産されていますが、年々生産量が減少していると聞いています。和名はアメリカ先住民のSeneca (セネカ) 族がガラガラヘビの解毒薬として使っていたことに由来します。現在では、アメリカやヨーロッパなど多くの国々で鎮咳去痰薬として利用されています。アメリカへ留学していた時、ウエストバージニア州にあるSeneca Rocksを訪れた思い出があります。この地は朝鮮人参に似たアメリカ人参の自生地でもあり、東アジアと共通の植生を持つ「東アジア・北米東部隔離分布」の代表例です。同様に、今回紹介しているセネガに対して東アジアにはイトヒメハギ (*Polygala tenuifolia*) が分布しており、その根は生薬・オンジ (遠志) として漢方薬に用いられています。

ラベンダー (シソ科)

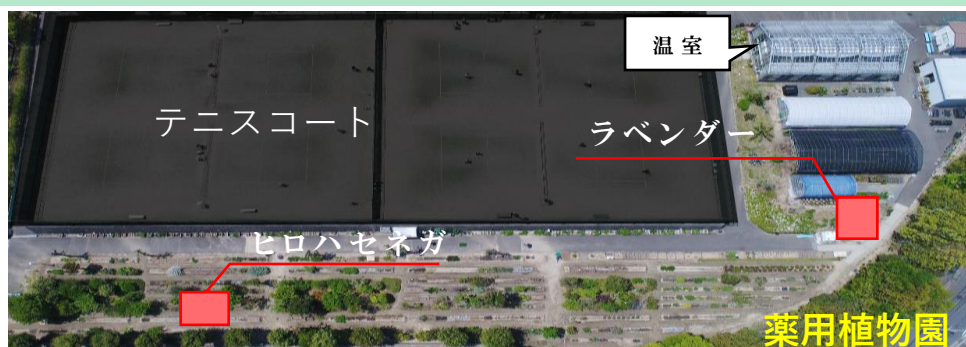
たった一人の農家が守った富良野のラベンダー

*Lavandula angustifolia* Mill.



|     |                                       |
|-----|---------------------------------------|
| 部位  | 花、地上部                                 |
| 生薬名 | ラベンダー                                 |
| 成分  | リナロール (主成分 モノテルペン)                    |
| 薬理  | 抗菌作用、抗炎症作用、鎮静作用など                     |
| 用途  | ラベンダーティーや精油の鎮静効果に基づく<br>睡眠補助剤や化粧品原料など |

スペインからフランス、イタリアにかけての地中海沿岸の山岳地帯が原産で、一般的に標高 1500 m以上で生育する常緑低木。ラベンダー属は39種知られており、世界中で約400の登録栽培品種があります。最も一般的に栽培されている種は、*L. angustifolia* (真正ラベンダー)、*L. latifolia* (スパイクラベンダー)、*L. stoechas* (スパニッシュラベンダー) などがあります。日本でも精油を取るために導入されましたが、合成香料により栽培地が衰退し、昭和45年頃には北海道の富良野でのみ生産されていました。その後、さらに栽培農家が激減しましたが、ファーム富田の富田忠雄氏がラベンダー栽培を継続し、現在では誰もが知る日本屈指の観光農園として親しまれています。近年では、秋田県美郷町などが保有している白花品種 (美郷雪華) も注目されています。



ホームページでも  
ご覧いただけます